

(別紙様式)

令和3年度 ICT活用実践研究 実績報告書

所属校園	附属函館中学校		形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 団体・グループ
研究代表者 (申請者)	氏 名		職名	備考(分担等)
	匂坂 卓雄		教諭	
研究分担者 (団体・グループの 場合)				
研究題目	クロムブックを活用したUnitの纏めと生徒の交流を通じた学び合い			
経 費 支 出 内 訳				
事項	単価 [円]	員数	金額 [円] (消費税込)	備考 (内訳・特記事項等)
携帯型通訳デバイス SOUR CENEXT POCKETALK	32,750	1	32,750	予算配分額20,000円(過不足は 附属学校運営費により調整)
合計			32,750	

【研究実績の概要、得られた成果・効果等】

(1) 研究目的

本研究では、chrome book の「スライド」機能を使用したまとめ活動を通して、生徒が主体的に学ぶ力をつけ、生徒の英語力を向上させるために、効果的があると考えられるクロムブックの活用方法を探ることを目的とする。

(2) 研究概要

外国語（英語）授業において、ユニットのまとめとして行うパフォーマンステストの課題を「キーセンテンスの内容をスライドで説明できる」とし、生徒は教科書やノート、ワークやインターネットなどを用いて、自分で調べた内容をもとに chrome book のスライドにまとめていく。生徒はルーブリックを確認しながらより高い評価を目指して、それぞれの表現を工夫したり、学校で習った内容以外についても自ら調べ、よりよいスライドづくりを目指すことで、英語力をつけていくことができる。生徒によってはオリジナルの問題を作成することで、より実践的な英語の使い方について学ぶことができる。

また、提出されたスライドをもとに、ボランティアが教室内で自らの作ったまとめを発表することで、ほかの生徒が改めて文法事項について学ぶ機会になり、生徒同士の教え合いも生まれる。

【手順】

- ① 教員は英語のクラスルームにおいてパフォーマンステストの課題を提示する。
- ② 同時にルーブリックを配布し、評価基準を示し、メ切を設定して課題に取り組ませる。
- ③ 生徒は教科書、ノート、ワークや辞書、ポケトークなどを活用しながら文法事項について整理し、スライドにまとめていく。
- ④ 生徒はほかの生徒がクラスルーム内のスライド提出フォルダを開き、ほかの生徒が提出したスライドを見て、感想や改善点などのコメントを入れる。
- ⑤ 教員は提出されたスライドを確認し、授業内でボランティアを募り生徒にスライド内容を発表させる。
- ⑥ 教員はルーブリックをもとにスライドについて評価を行い、生徒に評価を伝える。

Performance Test 【パフォーマンステスト】《 Unit 8 》

【Task】

Unit8 キーセンテンスの内容をスライドで説明できる。

【評価】『書くこと』 【ルーブリック】

	観 点	A (理想的)	B	C
表 現	①コミュニケーション における表現	□相手に伝わりやすいように工夫をしてプレゼンテーションを作成できている。 +問題を載せる	□プレゼンテーションを作成できているが構成に軽微なミスがある。	□Bを満たしていない。
技 能	②文法説明の 技能	□Unit8 の文法事項①現在進行形の肯定文②疑問文・What と用いた疑問文③感動を表す表現についてすべての項目を説明できている。 +教科書にない説明を加える	□Unit8 項目で1箇所説明忘れがある。	□Unit8 の文法事項で2か所以上説明忘れがある。
知 識	③文法の知識	□誤りのない正しい説明をできている。または2か所以下の軽微なミスがあるが、理解に支障をきたさない。 +授業の知識を活用している	□3か所以上軽微なミスがあるが、理解に支障がない程度で説明されている。	□Bを満たしていない。

【ポケトークの活用について】

生徒は例文を作ったり表現を考えたりする際に、紙辞書や電子辞書を活用しているが、今回はポケトークの使用も許可した。

ポケトーク使用時の写真



生徒が作成したスライド

現在進行形の肯定文「ing」の付け方

動詞の語尾	ingの付け方	例
① e	dを付ける	live→lived
② 子音字+y	yをiに変えてed	study→studied
③ 短母音+1子音字	子音字を重ねてed	stop→stopped
④ ①②③以外	edを付ける	play→played

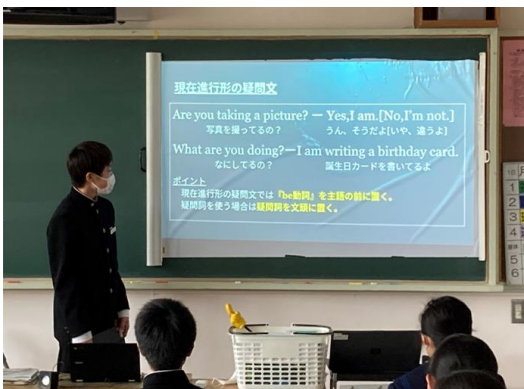
現在進行形の疑問文

Are you taking a picture? — Yes, I am. [No, I'm not.]
 写真を撮ってるの? うん、そうだよ[いや、違うよ]

What are you doing? — I am writing a birthday card.
 なにしてるの? 誕生日カードを書いているよ

ポイント
 現在進行形の疑問文では『**be動詞**』を主語の前に置く。
 疑問詞を使う場合は疑問詞を文頭に置く。

生徒の発表の様子



(3) 得られた成果・効果等

ユニットで学習した内容を、生徒が chrome book を用いた「スライド」でまとめなおすことにより、より生徒の理解が深まり、主体的に学ぶ姿勢を養うことができたと考えられる。他の生徒に発表することを意識することで、スライド内容も単純に教科書の内容をまとめたものではなく、独自に調べた資料などを添付しながら、魅力的な仕上がりになっていた。主体的な学びを進める上で、chrome book を用いたスライド作成の取り組みは効果的であるといえる。また、生徒が提出したスライドに別の生徒がコメントを入れる活動を通して、自らの作品を振り返り、より高い質のスライドを作ろうとする生徒の気持ちを感じた。お互いを評価し合いながら、生徒自身が学びに向かう力を高めることのできる活動であるとも感じている。

今後もこの活動を定期的に行いながら、生徒が主体的に学ぶ力を高めていきたい。